

黒田城址・登山コース

【片道：約 40 分 全長：約 1.1 km 標高差：約 200m】



城山全体像

中世・戦国時代に築かれ、後に稀代の軍師・官兵衛を輩出した黒田家の居城と伝わる黒田城址。全体像は不明ですが、城があったと伝わる稲荷神社から東へ続く尾根上にも人の手が関わった地形もあり、城郭の一部ではないかともいわれています。

1 登山道入口



市道横に「黒田城址」の標柱が立っています。進入路には門が設置されていますので、手で開けて入って下さい。

2 ゲート (山頂まで 1108m)



池の横に登山道の案内標識があります。ゲートを開けて入って下さい。(開けた後は必ず閉めて下さい。)

3 大日如来 (山頂まで 1000m)



登山道から少し離れた所に建てられています。近くには中世の窯跡と伝わる場所もあります。

4 散策路 (山頂まで 650m)



ゆるやかな傾斜が続きます。



山頂
(見張り櫓跡)
標高 312m

眺望場
(標高 235m)

6 急坂 (山頂まで 200m)



急坂が続きます。

- 駐車場
- 休憩ベンチ
- 案内板・標柱

5 眺望場 (山頂まで 350m)



ベンチが設置され黒田集落を見下ろせます。案内看板の奥には土橋状の遺構や曲輪の削平途中とも見える地形があります。

7 山頂 (見張り櫓跡)



天狗山に続く尾根上にあり、明確に削平された地形には「見張り櫓跡」の標柱が立っていますが、雨乞い場や護摩焼き場の可能性もあります。黒田集落や荘厳寺を眼下に見ることができます。